

## II 教育課程・学習指導改善の基盤

### 1 信州型ユニバーサルデザインの活用 ～校内研修ツール～

学習指導改善の重点（1）～（6）の充実に向けた研修方法として、「信州型ユニバーサルデザイン」（以下、「信州型UD」）の活用が考えられます。信州型UDとは、すべての子供が自分らしく学ぶことのできる授業づくり、学級づくりの基盤となる内容を、長野県の先生方とともに創り上げていくものです。

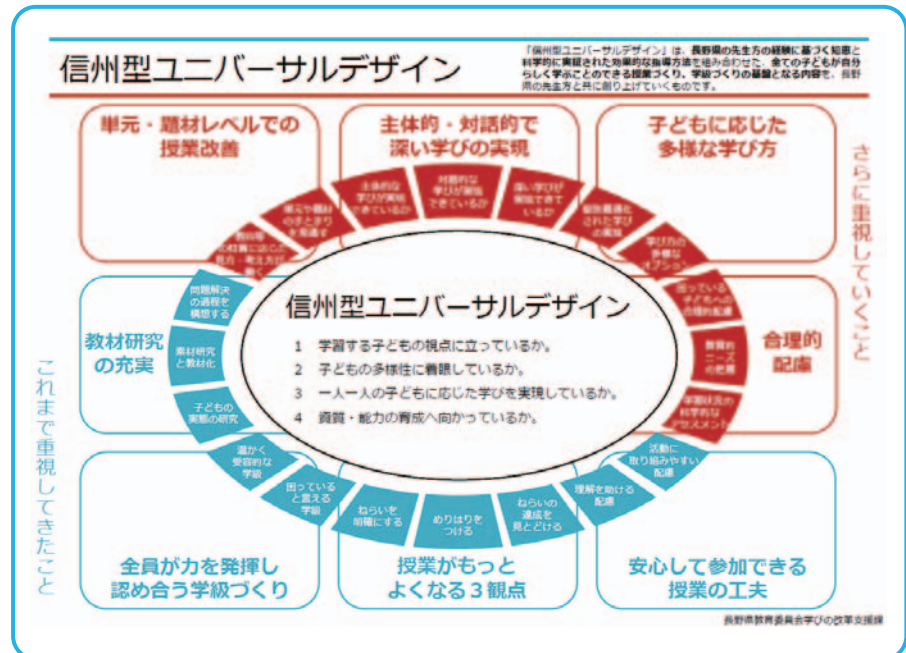
このような授業づくり、学級づくりについて、先生方が振り返る際の多様な視点を「全体像（右図）」として整理しています。多様な視点を整理するに当たっては、これまで長野県の先生方が「重視してきたこと」と、今後「さらに重視していくこと」に分類するとともに、8の窓口と20の着眼点にまとめています。

また、20の着眼点に沿って、

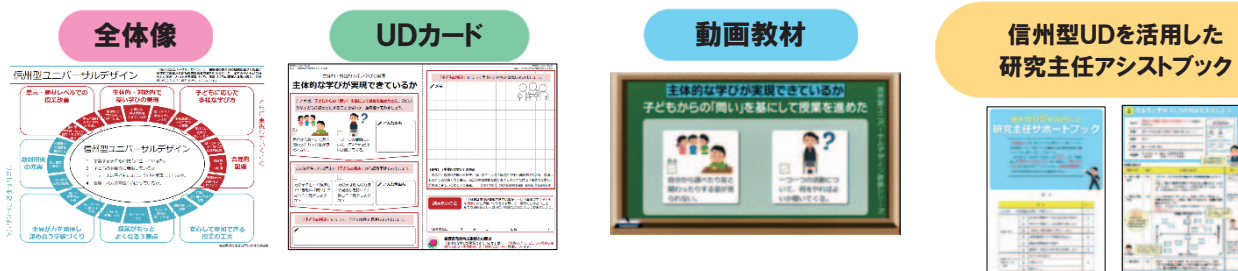
自らの授業づくり、学級づくりを「子供の視点」に立って振り返りつつ、先生方との交流を通して、新たに試みたい実践等を見いだせるよう、信州型UD研修シリーズ（校内研修資料）を作成しましたので、ぜひご活用ください。

#### 信州型UDで大切に考えていきたいこと

- 1 学習する子供の視点に立っているか。
- 2 子供の多様性に着眼しているか。
- 3 一人一人の子供に応じた学びを実現しているか。
- 4 資質・能力の育成へ向かっているか。



#### 信州型UD研修シリーズ(校内研修資料)



#### 信州型UD研修シリーズの研修の構造

- 1 **振り返る** よく行われていそうな実践を糸口に、日常の子供の姿を振り返る。
- 2 **掘り下げる** このような姿が見られる理由について、子供の視点から掘り下げて考える。
- 3 **見直す** 子供の視点に立って、自分の実践を見直す。
- 4 **交流する** 子供の視点に立って見直した内容を交流する。
- 5 **試みたいことを見いだす** 新たな選択肢として試みたい実践などをまとめる。

